

第6回商業界チラシ・DM大賞においてJ-NOA賞に輝いた新聞折込広告を特別編として紹介します。

ローカルチェーンならではの地域密着の取り組みを伝える『ニチエー』の新聞折込広告

今回は、流通小売業や外食業を対象とする経営専門誌『商業界』が毎年開催している「商業界チラシ・DM大賞」の第6回において、J-NOA賞に選出された『ニチエー』の新聞折込広告を紹介します。すでに商業界2015年8月号（7月1日発売）の誌上で発表されていますが、今回改めて本誌でも紹介させていただきます。

『ニチエー』は、広島県福山市に本部を置き、福山市に5店舗、三原市に3店舗を展開する食品スーパーです。生鮮品の生産者、各種食材、スイーツや総菜を提供する地元広島県内の企業とタッグを組み、「地元うまいもの市」を開催しています。なかには、この企画向けに地元企業同士でつくりあげた限定商品まで登場させている例もあり、ニチエーの担当者、地元企業関係者、生産者の関係の強さを感じさせます。

「地元うまいもの市」は、ニチエーの店舗自体が食に関わる地元の企業文化を発信する舞台になっているとも言えますが、そういった面も含めて地元ならではの魅力的な情報が新聞折込広告を通じて地域生活者に伝えられているということ、大賞の審査に関わった当協会PR委員会の土橋委員長をはじめJ-NOA関係者が高く評価させていただきました。

紙面はB3縦型のレイアウトになっていますが、単にアイテムの写真を載せるだけでなく、それを提供している企業の担当者を登場させることで、ニチエーとのコラボレーションの本気度を強く感じさせています。また、価格の表記は控えめで、商品の特色や企業の取り組みにフォーカスしており、商品の安全・安心、商品を扱うニチエーの信頼感を受け取れる内容になっています。

このような取り組みは、百貨店が定期的に開催している全国各地の物産展を彷彿とさせますが、ローカルチェーンの取り組みとしては珍しいもので、非常に興味深い事例です。さらに、「地元うまいもの市」は毎回売り切れが続出しているということから、大手全国チェーン企業との差別化という面においても注目に値する取り組みだと言えます。



■「商業界」編集長 笹井清範様

J-NOAは折込広告を扱う企業が集まった全国組織であり、折込広告のプロフェッショナルの集団と捉えられます。そのような組織がチラシ・DM大賞に参画されたことで応募者に対する信頼感を一層増すことが出来たと考えています。昨今“チラシが効かなくなった”との声も聞かれるようになりましたが、そうではないという確信があります。チラシに掲載

するコンテンツが生活者の求めるものと合わなくなっているために、効果が現れづらいのであり、チラシ・DM大賞のような取り組みで優れた事例を目にするなかでも折込広告の有効性を実感することができています。今後も、折込広告の有効な活用方法を見出して、J-NOAの皆様を含め広く共有していきたいと思えます。